

学校だより



教育は愛



令和5年11月30日発行

さいたま市立本太小学校

Tel 048-882-3007

<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>

e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ 感動！ 感謝！ 本太スマイル音楽会

コロナ禍による3年間の空白期間を埋めるように運動会で本格始動した“感動エンジン”は、11月末の「本太スマイル音楽会」でも音を立ててフル稼働しました。

インフルエンザの障壁も、保護者の皆様の健康管理の徹底により、本番では全学級が参加して発表することができました。

また、25日の公開時には、保護者・地域の皆様がルールやマナーを守られ、スムーズな移動・参観にご協力いただいたお蔭で円滑な音楽会運営ができました。

心より感謝申し上げます。

“保護者・地域の皆様のご理解とご協力”は、本太小が誇るブランド力の一つです。

これからも、“感動エンジン”を力強く稼働させ、保護者・地域の皆様と心を合わせて「愛」の溢れる教育活動を推進いたします。



◆ 「悪かったからといって落ち込むこともないですし・・・」 積極精神へのスイッチON！

◎「やれるだけのことはやって、練習もやってきていたので、結果は結果として受け止めればいい。しっかり次につなげられるように。よくても悪くても毎年、毎年そうやって、やってきたので、悪かったからといって落ち込むこともないですし、1回1回、1打席1打席、1球1球、繰り返し、繰り返し、前進していけばいいんじゃないかなと思います」(『大谷翔平語録』より) これは、メジャーリーグで奇跡の大活躍をしている大谷翔平選手の2020年オフのコメントです。

全て満点、全勝の結果などあり得ません。必要なのは「**結果を受け入れ、繰り返し努力を重ねることができる力**」だと思います。

そして、落ち込みそうになった時、**積極精神へスイッチを切り替える“その子なりの方法”**を見つけてあげることです。

◆ 今年の1冊を忘れられない1冊に！

12月に入ります。読書好きな本太小の子どもたちは、今年も数多くの本に親しむことができました。読書は心の栄養であり、自分の夢を叶える羅針盤にもなります。

さて、今年、読書した本で、最も印象に残った本をご家族皆様で振り返ってみてはいかがでしょうか。そして、お子様があげた1冊をご家族の皆様も読書され、感想をプレゼントするのです。そうすることによって、その1冊は、お子様にとって生涯忘れられない大切な1冊となります。また、ご家族の皆様から感想をもらうことで、より一層読書への意欲も高まることと思います。

1冊の本との出会いが人生を変えることもあります。読書は子どもたちが未来へ羽ばたく、大切な翼です！



◆ 井の中の蛙は悪いこと??

「井の中の蛙大海を知らず

されど天の深さを知る」

◎「大海を知らなくてもいい。自分の好きなことを一生懸命に掘りこんでいくことで、全てに通じる真理に達することができる。狭くても深く極めていくことによってしか分からないこともある。」

諺には、2つの教訓が対になって埋め込まれているものも少なくありません。

見方、読み取り方によって価値観の正負が微妙に変化することもあるようです。

「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来に生きる子どもたちの幸せのために～